

平成23年5月31日
水産庁

水産物の市況について（平成23年5月及び6月）

—東京都中央卸売市場における平成23年5月（平成23年4月21日～5月20日集計）の市況と、
平成23年6月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成23年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

II 平成23年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（5月に入ってから全国的に好調な水揚げとなっている。）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物トキサケが季節的に多くなるものの、その他は減少するため、全体では前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれるものの、魚体が小さいことや需要期でないことから、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。（日本海の漁場は能登半島が主体。低水温ということもあり北上が遅れている。）

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は九州西方海域。盛漁期を迎え順調な水揚げが続いている。）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は赤身類、脂身類とも前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（近海の小型延縄漁はビンナガ主体の操業）

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（魚体は漁場により中小型主体が多くなってきている。）

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	5月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
23年	48	835	50	793	51	806
前年	49	807	56	790	50	788

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	5月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	728	133	155	146
さけ・ます(平均)	738	103	123	119
(ぎんざけ塩蔵品)	703	103	104	106
(あきさけ塩蔵品)	499	100	117	116
(ときさけ塩蔵品)	850	100	97	107
(べにざけ塩蔵品)	1,050	100	145	126
(さけ類冷凍品)	726	104	130	125
さば(生鮮品)	424	105	106	118
するめいか(平均)	522	113	115	108
(生鮮品)	696	103	120	117
(冷凍品)	412	115	122	122
あじ(生鮮品)	468	97	85	94
まぐろ(冷凍品)	1,383	104	106	99
(めばち冷凍品)	970	102	98	104
(きはだ冷凍品)	784	102	89	97
(くろまぐろ冷凍品)	2,860	100	93	82
(みなみまぐろ冷凍品)	2,498	119	127	109
かつお(生鮮品)	746	65	58	65

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 5月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成18年~22年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 杉田、小林
直通 03-3591-5612